

研究課題名	T1 大腸癌リンパ節転移予測における大腸癌研究会ノモグラムの外部検証および臨床的有用性の検討
研究期間	2026年 6月 12日 ~ 2030年 3月 31日
研究の対象	1992年2月~2022年12月（うち2009年7月~2016年12月を除く）の間に広島大学病院で大腸癌の内視鏡治療または外科治療を受け、病理組織学的にT1大腸癌と診断された方
研究の目的・方法	研究目的： T1大腸癌（早期大腸癌の一部）を内視鏡で切除した後、追加の外科手術が本当に必要かどうか、より正確に判断するための新しい予測ツール（計算式）が、どれくらい役に立つのかを明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、患者さんごとのリンパ節への転移の確率を計算し、現在の標準的な基準（ガイドライン）と比べた際の正確さを評価します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、背景疾患、治療内容、病理組織学的情報等 試料：病理組織ガラススライド 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2026年6月12日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
その他	本研究で用いたデータ等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。その場合は改めて倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。 その際は、本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があ

ります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 消化器内科

担当者：桑井 寿雄

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5193